

### ～ 感覚統合訓練器具を安全にお使い頂くために～

感覚統合訓練器具は主に天井からロープ等で吊り下げ、器具のゆれを利用する訓練器具です。そのため天井から吊り下げるロープ・金具等は安全にご使用して頂く為の強度が要求されます。感覚統合訓練器具において、天井から吊り下げて使用するものの各吊り下げ用パーツ、フックに求められる強度について、下記に設定します。

#### 【安全率設定】

安全率の目安			
静的な荷重	動的な荷重		
	片振りの繰返し荷重	両振りの繰返し荷重	激しい繰返し荷重
3	5	8	12

静的な荷重で材料が鋼の場合、安全率は3以上と定められています。しかし感覚統合訓練器具の場合、静的荷重ではなく状況によっては激しい繰返し荷重がかかる事が想定される為、安全率は上記表の12を採用します。これは機械設計工学を参考にしています。

#### 【想定される耐荷重】

感覚統合訓練器具の中で、負荷荷重が一番大きいとされる「スペースリング」と「ホーススウィング」により想定される耐荷重を下記に表します。

	自重	最大搭載荷重	吊り下げロープ数	安全率による耐荷重
スペースリング	15 kg	120 kg	1本	1,620 kg
ホーススウィング	20 kg	120 kg	2本	840 kg

\* 安全率による耐荷重 = (自重 + 最大搭載荷重) × 激しい繰返し荷重 ÷ 吊り下げロープ数

以上により、感覚統合訓練器具の吊り下げ用部品に必要とされる強度は1,620 kg以上とします。同様に、施設における天井の強度については

**吊り下げ金具1ヶ所あたり1,620 kg以上が望ましいです。**

#### 【現在弊社感覚統合訓練器具に使用している部品】

部品名	部品強度
SI用テロンロープ	5,000 kg
カラビナ	2,000 kg
高さ調整器具	2,500 kg
ピコローテーター	1,500 kg

\* ピコローテーターはチューブスウィング等負荷の小さな器具に使用しています

上記はあくまでも目安であり、設置場所、使用者、使用方法により求められる強度は変化する場合があります。天井吊り下げ部品など設置の際は専門家の方々とお打合せ下さい。以上を参考に感覚統合訓練器具の設置をして頂く様お願い申し上げます。

2005年12月15日  
 パシフィックサプライ(株)  
 大阪府大東市御領 1-12-1  
 TEL072-875-8013 FAX072-875-8017

Think Possibility!